初めて要介護認定
申請をされる方へ

介護保険の認定調査について

認定調査とは

刈谷市 長寿課

要介護認定の申請受付後に、認定調査員が対象の方のお住まい（入院、入所中の方は病院や施設）に訪問し、ご本人やご家族に聞き取りを行うことです。

認定調査では、ご本人やご家族と面談し、全国共通の調査票に基づき、身体の状態や日頃の生活の様子をうかがいます。いただいた情報は、介護を必要とする度合い（要介護状態区分）を判断する材料にさせていただきます。危険のない範囲で実際に身体を動かしていただく項目と、聞き取りで内容を確認する項目があり、所要時間は45分～1時間程度です。

〈調査日時〉 平日、日中の時間帯で実施します（9：00～15：00の間）。

申請を受け付けた後、市役所からの電話にて日時を調整します。

〈調査場所〉 自宅または生活している場所（入院先や入所先など）で行います。

〈調査員〉 市の認定調査員が訪問します。

お願いしたいこと

- ・調査時に準備していただくものはありません。いつもの様子を教えてください。（これまでにかかった大きな病気・ケガ・手術・入院・持病などについてもお聞きします。）
- ・認定調査員には、業務上知り得た秘密を守る義務が法律で課せられていますので、ありのままの状況を教えてください。
- ・普段の様子を正しく把握するために、日常の様子が分かる方の同席を可能な限りお願いします。
- ・病院や施設に入院・入所している場合の調査日時は、市が病院や施設と相談します。調査には、看護師や施設職員が同席します。ご家族が希望された場合でも、病院などの感染症対策等により同席いただけない場合がありますのでご了承ください。
- ・正しく調査を行うために、体調の安定している時に実施します。入・退院直後など、生活環境が変わった時は、1週間以上経過してから調査します。
- ・発熱など体調不良の時は早めにご連絡ください。感染予防のために、ご家族の体調不良時もお連絡ください。
- ・調査対象のご本人の前では話しづらいような内容は、メモを渡して伝える、ご本人とは別室で伝えるなどの配慮をお願いします。
- ・調査対象者や調査員へ心理的影響を及ぼす恐れがありますので、撮影・録音等をご遠慮ください。
- ・市の認定調査員は車で訪問します。駐車スペースの確保にご協力ください。小さな車がよい、背の高い車は通れないなどありましたら事前にお知らせください。

裏面に続きます

認定調査でおたずねする内容

(主に、調査日から過去1週間以内の状況をおたずねします。)

①基本的な身体の動き

手足の動かし難さや関節の動く範囲が狭くなっていないか、実際に動かしていただきながら確認します。また、立ったり座ったり、寝がえりなど、生活していくうえで必要とされる基本的な動作をできる限り行っていただきます。

②日常の生活状況

移動や食べ物の飲み込み、排泄、着替え、整容、入浴など日常生活を維持するために必要なことをお聞きします。

③意思の伝達

思っていることを相手に伝えることができるか、直前の記憶があるか、今いる場所や季節を理解しているかなど認知機能についてお聞きします。

④精神・行動障害(過去1か月以内の状況)

被害的な行動や感情が不安定になることはないかなど、社会生活上、場面や目的からみて不適切な行動がないか詳しくお聞きします。

⑤社会生活への適応

薬の内服や金銭管理、買い物など地域で社会生活を維持するために必要な能力や、介助の状況をお聞きします。

⑥最近受けた医療行為(過去2週間以内のもの)

医師や医師の指示に基づき看護師などが実施する医療行為の有無について確認します。

認定調査の終了後

認定調査を行った内容と主治医意見書(※)をもとに、保健、医療、福祉の専門家で構成される「介護認定審査会」で審査され、介護を必要とする度合い(要介護状態区分)が判定されます。

認定結果は簡易書留にて郵送します。

※主治医意見書…主治医がご本人様の疾病や負傷の状況などについての意見を記した書類です。要介護認定の申請を受けた後に、市から直接主治医へ記載を依頼します。

連絡先 刈谷市役所 福祉健康部 長寿課 介護認定給付係
電話 0566-62-1013
FAX 0566-24-2466
電子メール choujyu@city.kariya.lg.jp